

# 平成20年度 性教育チーム 活動報告

中丁 栄美子、川崎 哲子、岩佐 玲子  
増田 寛子、旭 ななえ

# 平成20年度文部科学省委託 福井県性教育普及推進委員会

## ■ 目的

「性に関する教育」普及推進事業を適切かつ効果的に  
実施すること

## ■ 組織

- ◇ 福井県高等学校・中学校・小学校 教育研究会保健部会長
  - ◇ 福井県教育委員会
  - ◇ 福井県養護教諭研究会長
  - ◇ 福井県PTA連合会代表役員
  - ◇ 福井県産婦人科医代表
  - ◇ 福井県助産師会代表
  - ◇ 福井県臨床検査技師会代表
- 以上 9名

## ■ 年2回の委員会を開催

平成20年6月11日、平成21年2月5日(県庁にて)

平成20年度文部科学省委託  
福井県性教育普及推進委員会

## 内容

### 1. 検討会議の開催

- ・普及推進委員会

### 2. 指導者の育成

- ・出前講習会「子育て講演会」

産婦人科医会・助産師会・臨床検査技師会から講師を派遣し、県内全域小・中高等学校15校で講演会を行う。

- ・公開授業の実施

県内全域小・中県立学校9校で授業を公開し、参観、研究協議を行う。

### 3. 講習会の実施

- ・性教育指導者講習会

# 子育て講演会 実施要領

## 1. 目的

本講演会を行い、県内の若者の性に関する実態を知ること、教職員と保護者が連携して性教育を推進していくための一助とする。

## 2. 内容および講師

- A 福井県における若者の性の実態から見えてくること (産婦人科医会)
- B 命の誕生、思春期の生と性 (助産師会)
- C エイズ・性感染症の知識と検査について (臨床検査技師会)
- D 命の誕生のすばらしさ (臨床検査技師会)

## 3. 対象

- A～C: 教職員や保護者を対象とした学校または市町教育委員会が主催する研修会、講演会等
- D: 教職員や保護者を対象とした公開授業

## 4. 派遣期間と回数

期間: 平成20年7月1日～平成21年1月30日

回数: 県内15カ所

# 子育て講演会

	学校名	対象
小学校	金津小学校 (GT)	6年生・教職員・教育関係者(50名)
	北日野小学校 (GT)	5年生・教職員・保護者 (82名)
	本郷小学校	教職員・保護者(37名)
中学校	美山中学校	教職員・保護者(40名)
	今庄中学校	教職員・保護者(22名)
	上庄中学校	教職員・保護者(35名)
高等学校	大野高校(定時制)	全学年・教職員(65名)
	福井農林高校 <sup>*</sup>	1年生(80名)
	坂井農業高校 <sup>*</sup>	2年生(85名)
分会	学校保健会 大野市分会	小中高保健主事・養護教諭(27名)

GT:ゲストティーチャー<sup>\*</sup> □コミ依頼

# 講演活動の流れ

## 授業(児童・生徒対象)

1. 事前打ち合わせ(担任・県教委・技師会)
2. 担任は、指導案を県教委に提出
3. 授業
4. アンケート実施

## 講演(保護者・教職員対象)

1. 事前打ち合わせ(担当・県教委・技師会)
2. 講演
3. アンケート実施



# 小学校の『指導案』

1. 題材名: かけがえのない命

2. 題材の目標

- (1) 自分の誕生・成長は、多くの人に支えられていることに気付くことができる。
- (2) 命の誕生の神秘さや親(家族)の愛情を知り、自分の命を大切にしようという考えをもつことができる。

3. 指導計画(時間配当 本時2/3)

第一次 自分の誕生ルーツを知る。

第二次 生命誕生の神秘さについて考えをもつ。

第三次 自分の誕生や成長を支えてくれている家族に対して、感謝の気持ちを伝える。

4. 準備物

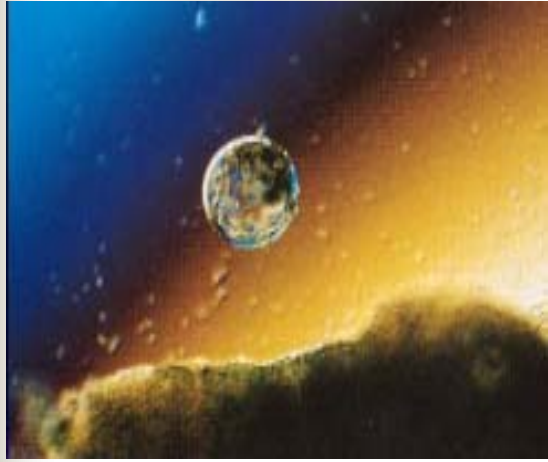
針で穴を開けた黒いカード、プロジェクター、生命誕生の映像資料、

ワークシート、元担任のビデオレター、親(家族)からの手紙

# 小学校



# 小学生の感想（6年生）



14週



お腹の赤ちゃんのキック！



1. リレーのバトンは、一度落としたり、つながらなくても またそこから始められるけど、いのちのバトンは、一度落としたりもうつながらないので、命は大切だなと思いました。やっぱりいろんな人に支えられているんだなと思いました。
2. お母さんとかががんばってつくってくれた命を大事にしたい。ぼくも命を大切に生きつづけたい。お母さんもがんばったので、ぼくもがんばって生きていきたい。

# 対象：中学生の保護者

## 内容

### 1. 性感染症の現状

増え続けるHIV感染

クラミジア・若年者があぶない！

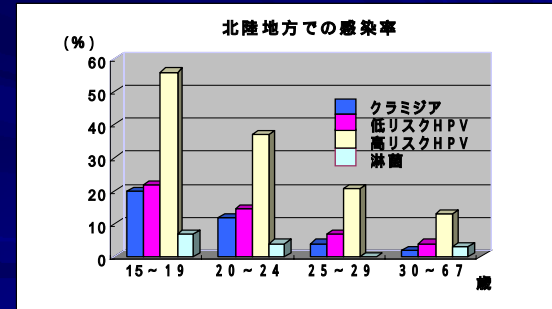
### 2. がんに関わる感染症

子宮頸がんの原因となるHPV感染

### 3. 喫煙とのかかわり

健康に及ぼす影響と性感染症との関係

北陸3県での性感染の実態  
産婦人科を受診した15～67歳の女性 同意の得られた617人を対象  
(2000.6～2002.5)



## 性感染症と喫煙の関係

タバコに含まれる成分ニコチンが、膣内常在菌(善玉)を攻撃し、感染への抵抗性が弱まります。喫煙は、女性ホルモンのエストロゲンの量を低下させ膣・頸管粘膜の異常を起こし、HPV感染による子宮がんの発生率を高めます。ニコチン及び分解産物コチニンは大量に頸管分泌液に現れて、免疫力低下を起こして性器のウイルス感染を容易にさせてしまいます。

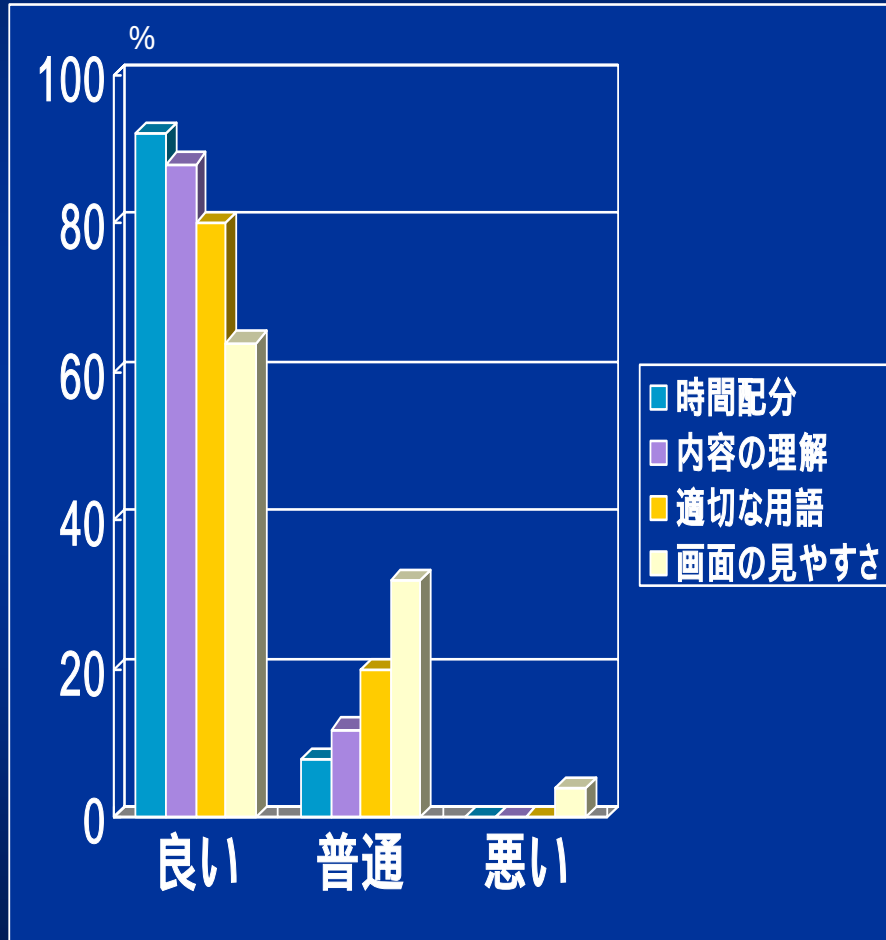
## 健康危険行動を抑制した要因

親と顔を合わせて話す  
ことが多い

- 朝食を摂取する
- 喫煙経験がない
- 飲酒経験がない
- 薬物乱用を断る自信がある
- 性的関係を断る自信がある

# 中学生保護者の感想

25人から回答

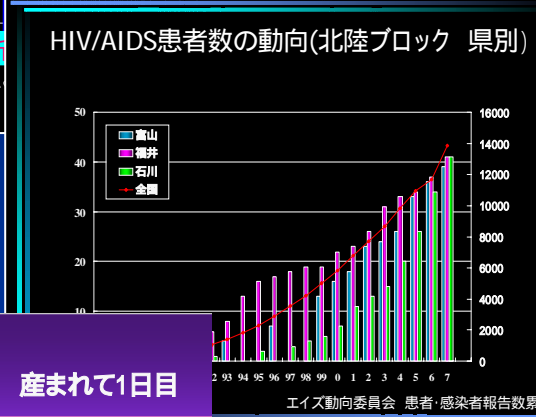
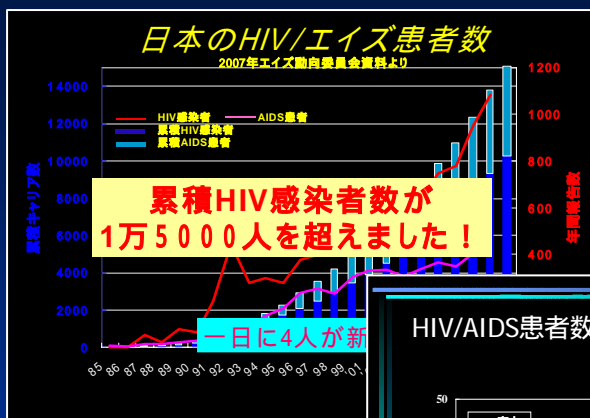


1. 福井県でも性感染症が増加している状況を知り、子どもたちを守っていききたい。
2. 子どもたちに性についてどう伝えていくかと考えるよい機会になった。
3. 携帯電話が普及し、子どもたちが危険にさらされている中、子どもと親・家族のコミュニケーションが大切だと改めて感じた。

# 対象：高校生

## 《内容》

1. エイズ  
疫学(世界・日本・北陸・福井)  
予防  
正しい知識
2. 性感染症  
増加しているクラミジアHPV等  
予防
3. 望まない妊娠  
中絶

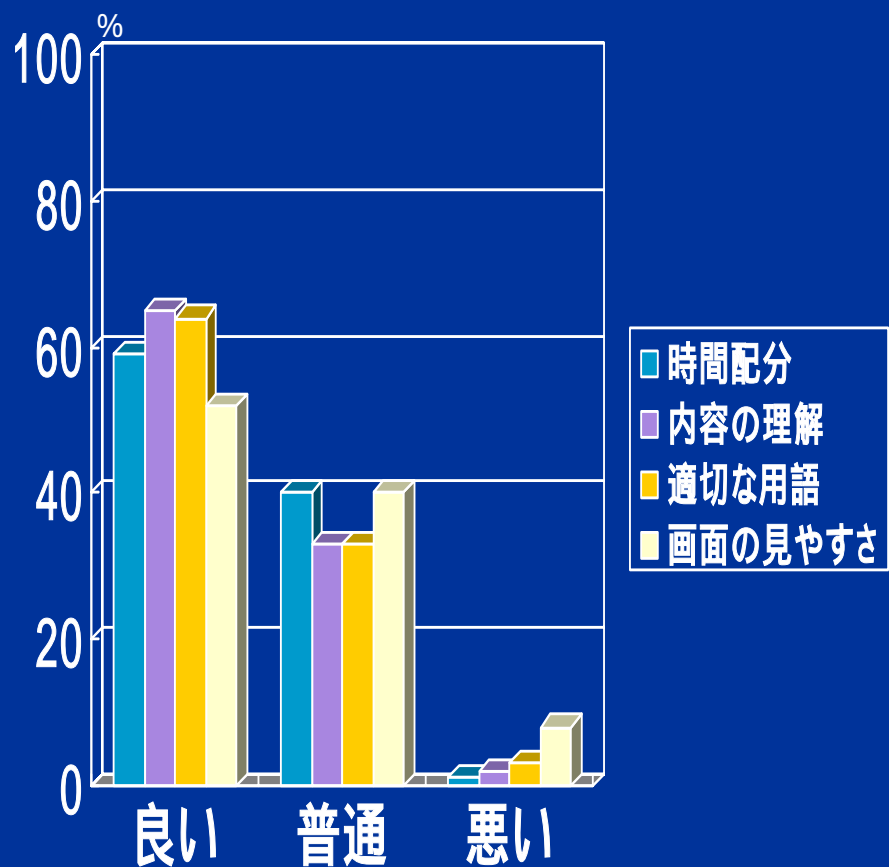


# 性 心 生

今の自分を大切にすることが  
将来の自分と家族を守ることができる。

# 高校生の感想（2年生）

75人から回答



1. エイズ・STDは危ない病気。
2. 自分には関係ないと思っていたけど不安な時は検査をしてみたい。
3. 福井県のHIV・エイズ感染の増加に驚いた。
4. 簡単に命を殺してはいけない。
5. いろんな情報に流されず、自分を大切にしないといけない。
6. 性教育についての話は大事だと思う
7. 将来家族を持つと思うので、エイズ・STDの知識を身につけたい。

# まとめ

- 1 . 一方的に性の知識や情報を伝えるのではなく、知識を意識に変えていく内容が重要である。
- 2 . 教育の現場や福井県教育委員会の協力が必要である。
- 3 . 対象者の心身の発達段階や各地域に応じた内容の工夫も大切である。
- 4 . 性教育活動には、地域・教育・医療が関わり、性教育の必要性及び性感染症の予防啓発を進めいくことが重要である。